

11月1日（火）に工事の安全祈願祭が滞りなく行われました。

当日は、共同企業体を結成していただいた（株）鴻池組、今井産業（株）両社のご努力で、立派な会場が設けられており、祭壇では地元の名産、賀茂神社天津宮司によって神事が厳かに執り行われました。

参加者は、遠くは大阪本社から来院された工事関係者、設計監理業者等14名、島根県や邑智郡公立病院組合の議員、行政職員、地元関係者等30名の合計44名を数え、公立病院の建て替えと言った一大プロジェクトを一同でキックオフしました。

本館棟建て替え 通 信

Vol.3

総務管理課

「本館棟建て替え事業」の進捗をお伝えする、連載の第3回目です。担当の総務管理課職員がレポートします。



左から金山、朝枝、服部、片岡



鍬入れの儀（左から福島議長、石橋管理者、山口院長）



式典の様子



安全祈願祭式場



建築主挨拶（病院管理者）

第一回総合定例会議

工事期間中には、発注者、設計監理者、施工者の三者が一同に会し定例会議が実施されます。第一回目は、初めての顔合わせとなり、ソフソフと落ち着いた中で会議が始まりました。冒頭で日高副院長兼事務部長から「華美ではないが、患者さんや職員が使いやすく、長く使用できるものを作ってもらいたい。地域医療を守るために、一心を一つにして建築工事に取り組んでいきたい」と挨拶がありました。

世界的な原材料の品薄・高騰の荒波の中の船出となりましたが、関係者一丸となって乗り越えていきたいと思えます。



次号に続く...